

塚越広大 レース結果報告



2009年4月17-18日 全日本フォーミュラニッポン 第1戦 参加台数14台
サーキット 鈴鹿サーキット

フォーミュラニッポンの開幕戦が鈴鹿サーキットで行われました。開幕前の2回のテストでマシンのフィーリングもよく、万全の体制でレースに臨みました。

予選

天候・・・晴れ

予選はノックアウト方式が採用され1セッションごとに下位のマシンが脱落していくルールでした。

Q1・・・/5位

20分間で行われました。最初はユーズドタイヤでコースに出てマシンの確認をしました。午前に行われた走行からセッティングを変更し、バランスも良くなっていました。ピットに戻り、NEWタイヤに変えて少し待ちました。残り時間が約6分のところで再びコースイン。タイヤを温めながらも前を走るマシンとの間隔を調整しました。そして、アタックに入っていました。ヘアピン、シケインのブレーキングするところで、うまくコントロールすることが出来ず5番手タイムでQ1をクリアしました。

Q2・・・/2位

10分間のインターバルを挟み残った11台でQ2が行われました。Q1からブレーキングでもっとタイムを削げる様にセッティングを変更し臨みました。ここでも残り6分でコースに入り、前を走るマシンとの間隔を調整しました。今回は1周目のアタックでタイムを出さないと、グリップダウンしてしまうので集中しました。そして、セッティング変更によって全体的にタイムを削ることが出来、2番手タイムを出すことが出来ました。

Q3・・・/7位

10分間のインターバルを挟み最後の予選に臨みました。Q1、Q2と路面が良くなっていくことを見越してセッティングを変えて最後のアタックに臨みました。セクター1でもベストタイムを出すことが出来、マシンのフィーリングが1番いい状態でした。しかし、バックストレートを走っているときに駆動系のトラブルが出てしまい、ストップしてしまいました。結果7番手でしたが、その後の車検で1台が不合格になったため、繰り上がりで決勝を6番手からのスタートとなることになりました。

決勝・・・/8位

天候・・・晴れ

午前中に行われた30分間の走行でガソリンを積んだ状態でのバランスを確認しました。自分の課題として燃料を多く積んでいるときにうまく乗ることが出来ないのを、感覚をつかめるように考えながら走行しました。

そして、迎えた決勝は、天候にも恵まれ気温が上がっていました。最後まで調整をしました。フォーメーションラップが始まり、タイヤをうまく温められるように左右に振りながらグリットにつきシグナルが変わるのを待ちました。

シグナルが消えスタートし、1台を抜き5番手で1コーナーをクリアしました。そこから3、4番手の後ろに付けチャンスを伺いました。1度4番手のマシンがシケインのブレーキングでミスをしたため、抜くチャンスがあったのですが、1コーナーで前に出ることが出来ず再び背後につけました。そして、12周目にシフトダウンが出来なくなってしまい、ペースを上げられず順位を下げてしまいました。その後、コックピット内の操作で再びシフト操作が出来なくなったのですが、回復までに約1周掛かってしまいました。その次の周にピットに入りタイヤ交換、給油を済ませコースに戻っ

ていきました。この時点で10番手までポジションを下げてしまいました。すぐに、8号車に追いつくことが出来、ホームストレートでオーバーテイクボタンを使いながら抜くことに成功。さらに前に行く16号車も同じく1コーナーで抜くことが出来ました。その後も、自分の出来る限り攻めて走りました。少しでも、前を走る車に追いつこうとプッシュし続けました。最終的に8位で開幕戦を終えました。

今回の開幕戦でマシンのポテンシャルが高いことがわかり、後は自分がマシンの力を全て引き出すことが出来れば結果が残ると思います。レースではまだ燃料が多いときのドライビングを改善し、タイムを上げられるようにしなければいけません。オーバーテイクをもっと1度で出来るように、したいと思います。

トラブルやアクシデントが起きてしまいましたが、次のレースでは今回以上の走りが出るように、トレーニングや研究を重ねていきたいと思っています。

次回のレース・・・5月22, 23日 ツインリンクもてぎ

塚越広大